

オペレーティングシステム診断バンドルの収集

内容

[概要](#)

[Microsoft \(Windowsオペレーティングシステム \)](#)

[Red Hat Enterprise Linux](#)

[SUSE Linux Enterprise Server\(SLES\)](#)

[VMware ESXi](#)

[LSIgetデータキャプチャ](#)

概要

OSログを収集する必要がある理由

テクニカルサポートログはUCSのトラブルシューティングにおいて重要な役割を果たしますが、OSイベントやログの重要性は十分に理解されていません。OS診断バンドルには、システム異常のトラブルシューティングに関する話の半分があります。ハードウェアの問題の切り分けからパフォーマンスの課題に至るまで、オペレーティングシステムは切り分けに役立つ重要なイベントを記録します。

Microsoft (Windowsオペレーティングシステム)

メモリDUMPログ： Microsoft Windows イベントログは、Windows OSレベルのトラブルシューティングに関する主な要件です。

詳細については、次のリンクをクリックしてください。 [https://msdn.microsoft.com/en-us/library/gg163107\(v=bts.70\).aspx](https://msdn.microsoft.com/en-us/library/gg163107(v=bts.70).aspx)

Red Hat Enterprise Linux

Sosreport: sosreport コマンドは、Red Hat Enterprise Linux システムから設定の詳細、システム情報、診断情報を収集するツールです。次に例を示します。実行カーネルバージョン、ロードされたモジュール、システムおよびサービスの設定ファイル。このコマンドは、外部プログラム(Kdump)を実行して詳細情報を収集し、結果のアーカイブにこの出力を保存します。

詳細については、次のリンクをクリックしてください。 <https://access.redhat.com/solutions/3592>

SUSE Linux Enterprise Server(SLES)

Supportconfig:SUSEの場合は「supportconfig -l」コマンドを使用してシステムログを収集するか、GUIの場合はYaSTを使用します。

詳細については、次のリンクをクリックしてください。

https://www.suse.com/documentation/sles-12/book_sle_admin/data/sec_admsupport_supportconfig.html

VMware ESXi

Vm-support : この診断バルックには、製品に固有のログ、構成ファイル、および状況に適したデータが含まれます。

詳細については、次のリンクをクリックしてください。 <https://kb.vmware.com/s/article/1010705>

VMkernel Zdump – 通常は、起動時またはvmサポートログの収集時に作成されます。ESXi 5.5以降では、VMkernelコアダンプをパーティションの追加または代わりにダンプファイルに書き込むことができます。このような場合は、「ESXiのダンプファイルから手動でVMkernel zdumpを生成する」を参照してください。

詳細については、次のリンクをクリックしてください。 <https://kb.vmware.com/s/article/1002769>

LSIgetデータキャプチャ

Lsiget – ストレージ関連の問題 (ディスク、RAID、仮想ディスクなど) の場合は、LSIgetデータキャプチャスクリプト (DOS/Windows/Linux/VMware/Solaris用) を使用してすべてのシステムログを収集し、LSIサポートに送信して分析します。これは、システム、コントローラ、ドライブに関するほぼすべての情報を含める最も迅速な方法です。

詳細については、次のリンクをクリックしてください – ダウンロード [ページ](#)。